

令和1年度
事業報告書

社会福祉法人 光明保育所

保育所事業 光明保育所

目 次

1. 施設の概要	2
(1) 施設の概要	2
(2) 職員配置	2
2. 法人運営状況	3
3. 施設運営基本方針・保育内容	4
4. 医 療	6
5. 食 事	6
6. 職員研修	9
7. 安全管理	10
8. 保 育 士	11
9. 保護者会	11
10. 環境整備	12
11. 地域福祉	12

令和1年度光明保育所 事業報告書

1. 施設の概要

(1)施設の概要

① 施設種別

保育所

② 所在地

〒675-1331 兵庫県小野市神明町298

③ 実施事業

第二種社会福祉事業

保育所事業

④ 定員

120名

⑤ 現員

73名 (令和2年3月31日現在)

(2)職員配置

令和2年3月31日

職種	管理者	主任保育士	保育職員			栄養士	調理員	嘱託医師	合計	
			保育士	看護師	小計					
配置基準	0	0	7		8	1		1	10	
配置人員	常勤	男子	1		1				1	
		女子		0	3	3			3	
		小計	1	0	3	3	3		4	
	非常勤	嘱託						1		1
		パート			10	2	12			12
		小計			10	2	12		1	13
合計	1	0	13	2	15			1	17	
備考	保育士配置基準 0歳児…3人に付1名 1・2歳児…6人に付1名 3歳児…20人に付1名 4・5歳児…30人に付1名									

2. 法人運営状況

(理事会開催状況)

令和1年6月5日開催

出席理事：5名 出席監事：2名

[議事内容]

- ① 事業結果報告(案)
- ② 収入支出決算(案)
- ③ 監事監査結果報告
- ④ 次期理事・監事候補者の選定
- ⑤ 次期理事長の選定
- ⑥ 定時評議員会
- ⑦ 経理規程の一部改正
- ⑧ 職員就業規則の一部改正
- ⑨ 旅費規程の制定

令和1年12月4日開催

出席理事：6名 出席監事：2名

[議事内容]

- ① 施設指導監査報告
- ② 理事長職務執行状況報告
- ③ 前項に伴う「現状と課題」
- ④ 第一次収入支出補正予算(案)
- ⑤ 運営規程(案)
- ⑥ 評議員(新)の選任
- ⑦ 令和2年度光明保育所定員

令和2年1月15日開催

出席理事：5名 出席監事：無し

[議事内容]

- ① 主任保育士の退職
- ② 前項に伴う主任保育士(仮)の任命
- ③ 評議員選任委員の選任
- ④ 保育所指導監査結果報告及び改善報告(案)
- ⑤ 必要保育士数の確保及び評議員選考の疑義

令和2年3月25日開催(電磁的記録で審議)

[議事内容]

- ① 第二次収入支出補正予算(案)
- ② 令和2年度事業実施計画(案)
- ③ 令和2年度収入支出予算(案)
- ④ 令和2年度保育士等職員配置
- ⑤ 保護者総会の内容
- ⑥ 職員就業規則の一部改正(案)

⑦ 職員給与規程の一部改正(案)

⑧ 職場におけるハラスメントの防止に関する規程(案)の制定

(評議員会開催状況)

令和1年6月20日開催

出席評議員：4名

[議事内容]

① 事業結果報告(案)

② 収入支出決算(案)

③ 監事監査結果報告

④ 評議員の選任

⑤ 理事・監事の選任、理事長の選任

⑥ 経理規程の一部改正

⑦ 職員就業規則の一部改正

⑧ 非常勤職員就業規則の一部改正

⑨ 旅費規程の制定

(監事監査実施状況)

令和1年6月5日実施

[指摘事項]

- 特になし。

3. 施設運営基本方針・保育内容

(1) 保育理念

- 子どもの健全な人間形成を図るため、光明保育所に通園するかけがえのない一人一人の子ども、保護者の最善の利益を尊重し、ご一緒に育ち合います。
- 子どもの人権・個性を尊重しながら、全職員が光明保育所に誇りを持ち、保育士として“働く情熱”と、“子ども・保護者に対する愛情”を持って多様化する要望に応じてまいります。

(2) 保育目標

- 心身ともに健康で明るい子
- よく見、よく聞き、よく考え行動できる子
- 友達や自然物を大切にし、感謝の気持ちを表現できる子
- 心豊かで思いやりのある子
- 自分らしさを自信につなげながら、意欲をもって活動し生活を楽しめる子

施設運営基本方針

- 一人一人の乳幼児が一日の大半を保育所で生活することを考慮し、安心・安全感をもって十分に活動できるよう環境を整え各年齢に応じて基本的な生活

習慣を基に健康・人間関係・環境・言語・表現の教育内容を総合的に取り入れたカリキュラムに沿って保育を行う。

① 年間行事

月 日	内 容	月 日	内 容
4月1日	入園式	4月19日	交通訓練・散歩
5月10日	小運動会	5月16日	市内5園交流会
5月21日	バス遠足	5月27日	トライやるウィーク
5月30日	避難訓練	6月3日	市内5園交流会
6月13日	避難訓練	6月13日	保護者参観
6月26日	プール開き	6月28日	宿泊保育
7月5日	七夕まつり	7月8日	交流会(小野工業)
7月20日	夏祭り	7月31日	避難訓練
8月23日	お店やごっこ	8月24日	地藏盆
8月29日	避難訓練	9月13日	祖父母参観
10月2日	市内5園交流会	10月5日	運動会
10月18日	ふれあい運動会	10月23日	バス遠足
10月24日	クッキング	10月25日	交流会(小野工業)
11月9日	さわらび祭	11月22日	金婚式典
11月30日	音楽会	12月11日	避難訓練
12月17日	元気がでるでるセミナー	12月24日	クリスマスパーティ
1月11日	もちつき大会	1月14日	走ろう会
1月20日	避難訓練	2月3日	節分
2月20日	人形劇講演	2月22日	生活発表会
2月28日	避難訓練	3月6日	お別れ遠足
3月10日	人形劇講演	3月12日	お別れ会
3月19日	避難訓練	3月26日	卒園式

② 一日の流れ

[0歳から3歳児]

7:00 自由保育(順次登園)
 9:30 設定保育
 11:00 給食
 13:00 午睡(おひるね)
 15:00 おやつ
 15:30 自由保育(順次降園)
 20:00 保育終了

[4歳から5歳児]

7:00 自由保育(順次登園)
 9:30 設定保育
 11:30 給食
 13:30 設定保育
 15:00 おやつ
 15:30 自由保育(順次降園)
 20:00 保育終了

③ 生活支援

(ア) 文化活動援助

- ABCスクール…英語教諭(元中学校)の先生に遊び感覚を取り入れた英語を学びました。

- 茶道教室…年4回、裏千家師範の指導により、日本古来の伝統(作法)を楽しみました。
- 体育クラブ…年数回、体育指導員の指導を受け、スポーツ好きの子を育てました。
- 習字教室…毎月第1・第3土曜日に、きれいな字が書けるよう習字の先生の指導を受けました。
- おはなし会…毎月、絵本講師を迎え、素話や読み聞かせを楽しみながら、心の育ち、言語力、想像力、知識力を高めることをしました。

(イ) 啓発活動

- 毎月、神戸市西区の老人保健施設たちばな苑を慰問(5歳児)し、歌・ダンス等を披露し、入所者の方々がリフレッシュされる一助となった。
- 小規模多機能施設が主催する「さわらび祭」に参加し、歌・ダンスを披露した。
- 小野市内金婚夫婦を対象に開催される「金婚式典」のオープニングセレモニーで、歌・ダンスを披露した。

4. 医 療

(1) 目的

- 園児の健康の保持増進に努め豊かで安定した生活が送れる環境をつくる。

(2) 方針

- 家族との連絡を密にし、身体的・精神的な変化や状況の情報共有により保育を行う上で配慮し支援を行った。また、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

(3) 内容

- 内科検診(年1回…全園児)
- 歯科検診(年2回…4歳・5歳児)
- 発育測定(身体測定)は毎月看護職員により実施。
- 保健だより(毎月)を家族に配布。
- アレルギーがある園児には、家庭からの情報提供の下で主任保育士・栄養士・看護職員が情報共有し対応した。
- 保育中に転倒等で怪我をされた場合には、状況により近隣の医療機関を受診し対応した。

5. 食 事

(1) 目的

- 食は命の源であり、食事は健康を維持するのに必要な栄養素を取り入れて、毎日元気に活動するための重要な役割を担っている。

心身の健全な発達を図るとともに食事に対する正しい理解を形成し習慣化できるように心掛けなければならない。

施設の生活環境は個人差の大きい園児が集団で生活していることから、可能な限り各園児に適応できるような食事の提供を工夫するように努めた。

(2)方針

- 完全給食を実施し、栄養士がバランスを考え新鮮な食材で手作り調理を行った。

(3)内容

- 献立は、毎月の園だよりで知らせた。
- 行事食・誕生日メニューを取り入れ食に工夫を凝らした。
- 食中毒等の予防のため、食前の手洗い、食後のうがいの支援をした。
- 偏食せずバランスよく食べれるよう保育する。
- 食事のマナーを身につける保育をする。

4月・5月

[給食目標(ねらい)]

- ・ みんなで楽しく給食を食べよう。
- ・ 新入児は給食に慣れよう。

[全体への配慮]

- ・ 新しい環境に早く慣れるように配慮する。
- ・ 家庭との連絡を取る。(アレルギーの子ども、食の細かい子どもなど)
- ・ 子どもに応じた食事量を、担任に調整してもらおう。
- ・ 職員会議で保育士と連絡を取り合う。
- ・ 食べれない食材も、上手に取り入れ、切り方などを工夫する。

[行事・行事食・おやつ]

<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園式 ・ お楽しみ会 ・ バス遠足 ・ 散歩 ・ 子どもの日の祝い ・ 小運動会 ・ お誕生日会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜餅 ・ お弁当 ・ こいのぼりライス ・ 赤飯
---	---

6月・7月

[給食目標(ねらい)]

- ・ 手洗いをしっかりしよう。
- ・ 食中毒に気をつける。

[全体の配慮]

- ・ 正しい手洗いの仕方を指導する。
- ・ 調理器具や手は清潔にする。
- ・ 加熱、冷却はしっかりと行う。
- ・ 調理は手早く行う。

〔行事・行事食・おやつ〕

<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会 ・クッキング ・参観日 ・プール開き ・5歳宿泊保育 ・七夕まつり ・夏祭り ・お誕生日会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤクルト ・宿泊保育 ・七夕ソーメン ・クッキング(じゃが芋とごまのドーナツ) ・赤飯
---	--

8月・9月

〔給食目標(ねらい)〕

- ・熱中症、夏バテを予防する

〔全体の配慮〕

- ・お茶を十分に準備し、水分補給する。
- ・水分の与えすぎによる食欲不振にならないように気をつける。
- ・暑くても食欲が増すような、あっさりとしたメニューを取り入れる。
- ・ほかの季節より味付けを濃くする。

〔行事・行事食・おやつ〕

<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母参観日 ・お店屋さんごっこ ・お楽しみ会 ・お誕生日会 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤飯 ・お団子
--	---

10月・11月

〔給食目標(ねらい)〕

- ・何でも食べて、体力をつける。

〔全体の配慮〕

- ・食欲が増してくる時期なので、食事の量を調整する。
- ・よく食べ、よく遊び、よく寝て体の調子を整える。

〔行事・行事食・おやつ〕

<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・市内5歳児交流会 ・お誕生会 ・音楽会 	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当 ・赤飯
--	---

12月・1月・2月

〔給食目標(ねらい)〕

- ・バランスよく食べて、風邪をひかないようにしよう。
- ・食中毒(ノロウイルス)に注意する。

〔全体の配慮〕

- ・寒さに負けないようにしっかり食べて、丈夫な体と風邪の予防。
- ・温かい料理を中心に献立をたてる。
- ・適温給食の配慮。
- ・食中毒(ノロウイルス)予防のため、手洗い・うがい・消毒の徹底をする。

〔行事・行事食・おやつ〕

<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスパーティ ・お楽しみ会(かるたとり大会) ・走ろう会 ・豆まき ・生活発表会 ・お楽しみ会 ・お誕生日会 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもち ・クリスマス給食 ・クリスマスケーキ ・ぜんざい ・節分豆 ・赤飯
--	---

3月

〔給食目標(ねらい)〕

- ・好き嫌いせず、意欲的に食べよう。
- ・一年間を反省しよう。

〔全体の配慮〕

- ・自分から意欲的に食べることを楽しめる、食環境づくりに配慮する。
- ・保育士、調理室と一年間の反省を行う。

〔行事・行事食・おやつ〕

・お別れ遠足 日会	・ひな祭り ・卒園式	・お別れ会 ・お誕生	・お別れ給食 ・赤飯 ・ひな祭りご飯
--------------	---------------	---------------	--------------------------

① 衛生管理

食中毒を起こさない徹底した衛生管理の実施。

- ・調理実施者については毎月1回検便の実施。
- ・納品時の食材の温度測定・調理食材の中心温度測定を実施。
- ・冷凍・冷蔵庫及び厨房内の気温・湿度のチェック。
- ・手指消毒器の設置。

② 市場調査の実施

納入業者の価格が適正であるかを知るため市場調査を実施した。

③ 備蓄食品の更新

必要に応じて備蓄食品を購入した。

6. 職員研修

(1) 目的

- 保育所においては、園児の健全な育成とともに保護者支援まで含めた広汎な機能を持ち合わせている。これが十分発揮されるためには、保育の課題を冷静かつ的確に判断しうる専門的知識と実践力が要求される。高度で科学的な知識と専門的技術の習得によって、高い水準の支援が実践できるように研修や調査・研究を目的とした。

(2) 方針

- 保育職員に求められる資質は、人格的要素、高い専門的知識や技術である。社会福祉学等の分野に対する正確な理解は援助技術の上に欠かすことができないものである。園児に対する保育は、その場限りのものであってはならず、科学的に根拠のあるものでなければならない。

(3) 内容

- 職場内研修
- ※ 研修の具体的内容については、保育士の慢性的不足等多様な問題が多く令和

1年度は計画的・継続的・階層別の研修が出来てなかった感は否めない。

- ※ 本年度の反省を活かし、次年度まずは職場内研修（職員定着支援研修【外部講師】、新保育指針に基づく年齢別保育のあり方、虐待防止研修、ヒヤリハット・事故事例検討、発達障害児童支援検討【外部講師】等）を計画的に取り組んでいきたい。
- ※ また、保育協会が開催する専門別研修（キャリアアップ研修）にも、職員個々の資質向上のため積極的に参加させたい。

会 議

会 議 名	内 容	参加者	実施日
職員会議	光明保育所運営基本事項立案 翌月行事等打ち合わせ 利用者支援全般に関する事項の協議・検討・意思統一	職員	月1回
保育士会議	園児援助方法の検討 作業・日課・行事等の細部検討及び修正	保育士 栄養士	年数回

7. 安全管理

(1)目的

- 万全の上に万全の安全管理を求めることを十分に念頭におき、施設を利用する子どもたちの行動も一人一人違うということを再認識することが、施設における安全管理の基本と心得、ハード面、ソフト面、援助システム面における安全対策を講ずることを目的とした。

(2)方針

- 子どもたちの生命を預かって健全な育成を行う上においての管理責任、保護責任、道義的責任、社会的責任、法的責任にも生じる可能性があることを常に心掛けておかなければならない。そのためにも職員は、日頃より総力をあげて各ポジションにおいて危機管理対策を講じるよう心掛け、組織的・継続的・統合的な対応が出来るよう創意工夫し、危機に対して平常からの準備と初動対応能力、再発防止体制を整えるよう努めた。

(3)内容

- 避難訓練について
保育所の基準においては、毎月1回以上避難訓練（年2回は総合訓練）を実施することとなっているが、職員の配置不足や訓練当日の悪天候等により、

毎月の実施には至らず。

※ 園児の生命を守る事を第一義に、次年度は毎月1回以上実施。内容も、火災・地震・不審者侵入等あらゆる状況を設定し実施につなげたい。

※ 訓練当日、雨天や職員の人員配置不足で実施すると危険性を伴う可能性が生じる事も危惧され、毎月の実施には至らなかった。

8. 保育士（人材確保）

- 令和1年度については、保育士採用5名・退職5名・看護師退職1名となった。主たる要因は、保育士間の人間関係の軋轢であると示唆される。その都度相談にも乗ったが、就業規則に明記されている「退職の場合」の事前申請（概ね3ヶ月前）も遵守されておらず、突然退職に至るケースもあった。結果、令和1年度保育士数最低基準をクリア出来た月は4ヶ月に留まった。
- その状況を踏まえ、保育士確保に向けあらゆる求人媒体・人材派遣会社・ハローワーク・養成校への依頼等方策を講じた。
- 令和2年3月に最低基準をクリアし、次年度からは新たに主任保育士・副主任保育士を任命し、最低基準以上の人員で『今、求められる保育』を進めていきたい。
- 尚、職員の義務と権利である就業規則等についてはあらためて職員会議で話をしコンプライアンス遵守を徹底していきたい。
- また、保育士の定着支援のためにも管理者（園長）は勿論役員（理事・評議員）とも定期的な面談を行い、定着を阻害する要因を分析し排除していくつもりです。

9. 保護者会

- 令和2年3月6日保護者総会開催。
- 理事長（園長）・理事・評議員出席の下、今後の当保育所の運営方策、保育士確保の目途等を報告し理解を求めた。
- しかしながら、協議題が明確でなく一部の保護者から前主任保育士が1月に退職したことに対するクレームに終始した。その中で、前主任保育士の復職署名運動の提案があった。
- 施設としては、前主任保育士から退職届が出ておりかつ人事案件として令和2年1月15日開催の理事会でも承認された事項であり、署名結果の回答はガバナンスの観点から丁寧にするべきである。ただし、決定内容は経営者（法人役員）が協議・承認した事項であります。

10. 環境整備

- 保育所の機能は支援の機能、暮らしの機能そして育成の機能を持っており、これらが複雑に絡み合っただけで福祉機能を形成している。この機能は人的環境、物的環境、自然環境という3つの環境がよい影響を与え合うことによってその役割・使命を果たすことを心掛けた。

施設利用者及び施設関係者が生活しやすい環境作りを常に心掛ける共に、施設内及び施設周辺の美化等も心掛けた。

① 環境整備

- ・ 大掃除の実施
- ・ 毎日の清掃の徹底
- ・ 各クラス等は業者に委託しワックス掛けを実施した。

② 環境衛生

- ・ 害虫駆除の業者委託
- ・ 洗面所・トイレにペーパータオルの設置
- ・ 乳児部屋にイオン発生器設置
- ・ 臭いがこもらないように常に換気に気をつけた。

11. 地域福祉

- 保育所の地域福祉が機能するためには、基盤となる地域が形成されなくてはならない。また、逆に子どもたちの生活を作るという実践があつて、そこで生活が支えられる福祉力を発揮しなければならないのである。

ノーマライゼーションの理念を発展させ、具体化させて補強し、健全な育成、QOL、自立、自己決定と自己選択等も地域福祉の理念そのものでなければならぬものである。

(1) ボランティア受け入れ

- ・ 積極的にボランティアを受け入れ又、ボランティアの参加を呼び掛けた。

手芸用品作成ボランティア

英会話教室ボランティア

習字教室ボランティア

茶道教室ボランティア、等

(2) 実習受け入れ

- ・ 小野中学2年生 トライやるウィーク
- ・ 小野工業高校 インターンシップ
- ・ 三木東高校 インターンシップ、等